

ウチは責任持って「一人前」に育てます!

「社員教育」が 充実している 注目企業はココだ!!



「新しい仕事が覚えられるのか不安」「職場に慣れるまでには時間がかかりそう」と転職をためらっているアナタ。
「社員教育の充実度」で希望先を絞り込んでみてはいかが?
今回は「社員教育」の評判の高い注目企業を紹介する。
“転職者に優しい”企業でその道のプロを目指そう!

Text/Direction/Tetsuya Shibata (edit) Photo/Yohai Inoue, Takahiro Kasahara (edit) Design/Naeko Kawakami (Studio Lambros) Illustration/Nanako Nakamura



坂巻 美和子さん
企業研修やセミナーなどを行う社員教育研究主宰。人材育成コンサルタントとして30年の経験を持つ。主にビジネス能力アップ研修やキャリアアップセミナーなどを手がけている。

中途採用の場合、新卒時のあらたまった形での研修はあまり行われず、会社概要、業務知識、業界知識の3つについて、現場で先輩社員に教わりながら実務を通して学ぶOJT (On the Job Training) が一般的です。社会人としての基本的なマナーは習得していることが前提となりますので、ビジネスマナーに不安がある人は自分で事前に勉強しておいた方がよいでしょう。

入社後、経験に応じて行われる研修は、新卒・中途の区別なく実施されます。終身雇用を前提とした社会から、雇用の流動化が激しい社会になっていきますので、階層別研修よりチーム別研修が多く、希望者のみが参加する研修が増えています。

研修が充実しているから自分は何も勉強しなくていいという受け身の姿勢ではなく、その制度を利用して自発的にスキルアップしていこうという積極的な姿勢で臨むことが大切なのです。

入社時研修を受ける際に気を付けることは、以前勤めていた企業のルールや仕事の仕方を守るべく持ち出さないこと。入った企業にはその企業なりのルールや仕事の仕方があり、それを学んで欲しいのですから、それに合わせるようにしましょう。

企業は市場での勝ち残りをかけて優秀な人材を育てることに力を入れています。研修制度を活用して自ら積極的に学ぼうとする意欲的な社員を企業は求めているのです。

【中途採用は短期間の「現場研修」が主流
その企業特有のルールをいち早く学ぼう】

転職者が入社時研修を受ける際に 気をつけたいポイント

- すでに知っていることでも謙虚な姿勢で学び直そうと心掛ける
- やらされている意識ではなく、自ら進んで学ぶ姿勢を忘れない
- 入社後3カ月の期間を大切に、わからないことは早めに聞く
- その企業特有のルールや事務処理方法を尊重し大切にする
- 自分の意見の前に、まず他人の意見に耳を傾ける